

## 平成27年度第2回臨時社会教育委員会議事録（議事要旨）

**1 開催日時** 平成28年1月21日（金）午後2時～4時

**2 開催場所** 郷土博物館 1階 視聴覚室

**3 出席者**

（委員）

藤田委員長、松木副委員長、渕野委員、松浦委員、田中委員、大塚委員  
大木委員、守屋委員、扇谷委員

（事務局）

生涯学習部長、生涯学習部参事、生涯学習部次長（事務取扱）青少年センター所長、生涯学習課長、市民スポーツ課長、高洲公民館長、中央図書館長、市民スポーツ課課長補佐、生涯学習係

**4 傍聴人** 0人

**5 議題**

（1）報告事項

1）浦安市社会教育関係団体の認定に関する運用基準及び生涯学習施設使用料に関する減免基準について

（2）協議事項

1）今後の研究テーマについて

（3）その他

1）次回会議日程について

**6 議事概要及び会議経過**

（1）報告事項

1）浦安市社会教育関係団体の認定に関する運用基準及び生涯学習施設使用料に関する減免基準について

生涯学習課長より報告した。委員からの主な意見及び質問は、以下のとおり。

（委員）スポーツ団体への補助金の交付について、団体によって何か違いはあるのか。

（事務局）スポーツ団体については、野球連盟には直接交付しているが、多くの団体は体育協会に市から補助金を交付してから、体育協会が各スポーツ団体に配分しているという状況である。

（委員）現在認定している社会教育関係団体はいくつあるのか。

（事務局）495団体である。

（委員）施設使用料が全額免除になるのはどのような場合なのか。

（事務局）体育協会のイベントでいうと、春と秋に市と共催で行うイベントについては免除となり、各単体の団体が主催するイベントについては50%減免となる。

## (2) 協議事項

### 1) 今後の研究テーマについて

事務局より、前回会議で各委員から出た意見について説明した。各委員からの意見は以下のとおり。

(委員長) 本日で、今後の研究テーマを一つにまとめなければならない。今後、任期中に10回の会議があるが、その中で話し合っ、最終的に教育委員会に提案していく必要がある。会議前に事務局と相談したところ、私としてはスポーツに関して研究をしていきたいと考えている。

(事務局) 本市は、体育協会・軽スポーツ協会の会員が多く、総合型地域スポーツクラブは6団体あり、スポーツがとても盛んである。今後、東京オリンピック・パラリンピック、ラグビーのワールドカップ、ソフトボールの世界大会など、国際大会が控えており、市民のスポーツへの気運が高まっている状況である。一方で、平成22年に「生涯スポーツ健康都市宣言」を行ったところであるが、宣言後どのような取り組みをしていくか苦慮しているところであり、平成29年度には運動公園の工事が完了することで、施設を有効活用していかなければならないという課題がある。その中で、来年度からスポーツ推進計画を策定していきたいと考えており、委員の皆様から提言をいただくことで、とても参考になるのではないかと考えている。

(委員) これは教育委員会からの諮問と捉えてもいいのか。

(事務局) 社会教育委員の研究テーマであるが、諮問を望まれるならば、そう捉えてもらって構わない。

(委員) 諮問であるならスポーツでも構わないが、提言であれば他テーマについても考えたい。例えば音楽などの芸術・文化は、社会教育の中でも重要な分野であると思う。スポーツと芸術・文化でテーマごとに分かれて研究していくのはどうだろうか。

(委員) スポーツは幅広い世代で多くの方が楽しめるものであり、東京オリンピック・パラリンピックが開催されることで盛り上がる分野である。また、浦安の魅力を考えたとき、まず東京ディズニーリゾートが出てくるが、その次がなかなか出てこない。市全体としてスポーツを振興していけば、スポーツの分野で浦安の魅力を高めていけるのではないかと思う。ただ、スポーツだけでなく、文化・芸術の分野も魅力があると思う。

(委員) 11人の委員が分科会に分かれて複数のテーマを研究していくよりも、一つのテーマに絞っていくほうが良いと思う。私は、小学生のときに東京オリンピックを見て、スポーツを始めた経験がある。今後、オリンピック・パラリンピックを含め国際大会が身近な場所で開催されるので、スポーツに絞って研究したいという思いはある。

(委員) いきなりスポーツの分野に決めるのではなく、社会教育や社会教育委員の役割を踏まえてテーマを決めていく必要がある。生涯学習フォーラムのパネルディスカッションのテーマである「地域の子は地域で育てる」は、まさに社会教育の役割であり、

その子どもたちを育てる方法としてスポーツや音楽などの文化・芸術があるのではないか。また、スポーツはオリンピック・パラリンピックがあることから、逆にこの場で研究しなくても、盛り上がっていくと思うし、体育協会というしっかりした組織がある。しかし、音楽は個々の団体がそれぞれ活動している状況であり、我々が研究することで、まだまだ発展していく余地があるのではないかと思う。

(委員) スポーツは競技スポーツだけでなく、ちょっとした運動でもスポーツになると思うので、誰もが取り組めて、全体としてできるのはスポーツではないかと思う。またスポーツを通して文化・芸術などの他分野にも取り組めるのではないかと思う。

(委員) スポーツ、文化・芸術のどちらも豊かな人生を過ごすための手段であると思う。例えば、スポーツや文化・芸術の分野で人生を豊かに過ごしている人の例を紹介していくのはどうだろうか。

(委員) 最近では学校の休み時間に外で遊ぶ子どもがあまり多くない。そのような中で、マラソンコースを作ったりして子どもの体力づくりになるよう取り組んできたこともあり、スポーツの分野で研究していけたらと思う。

ここで、委員長がテーマに関して資料を作成してきたので、その説明を行った。

(委員長) 市長の施策方針には、今後急速に市の高齢化が進んで行く中で、健康寿命を伸ばすための健幸ポイントの取り組み、運動公園等のスポーツ施設の整備、シティプロモーションへの取り組みがあり、スポーツに関する施策が多くある。また、第4回定例会で「生涯スポーツ健康都市宣言」について、まだ十分な施策ができていないという話があった。これらのことから、「(仮)浦安市のスポーツ推進のあり方～スポーツを通じた生きがいのあるまち浦安～」というテーマで、生涯にわたって、健康で積極的にスポーツに親しむ市民を育てるためのスポーツ振興策を提言したいと思う。

(委員) 今期の社会教育委員のメンバーをみると、委員長・副委員長がスポーツに関する取り組みをしていること、时期的にオリンピック・パラリンピックを控えていることから、今回についてはスポーツについて取り組んでいくことはどうだろうか。

(委員長) 皆さん、さまざまな意見があると思うが、今回はスポーツに関して研究していきたいと思う。もし、現時点でどのような観点で研究していきたいか意見があれば出し欲しい。

(委員) 市内でスポーツに取り組んでいる方について、いろんな視点から紹介していけたらいいと思う。

(委員) ジョギングコースなど市民が走れるコースを提案するのも良い。

(委員) 「生涯スポーツ健康都市宣言」の具現化のために、年代別に分けてスポーツイベントを提案していきたい。

(委員) 他市にはない浦安独自の取り組みをしていけたらいいと思う。例えば、音楽とスポーツを融合した取り組みなど、浦安から何か

発信できるものを提案していきたい。

(委員)「生涯スポーツ健康都市宣言」は船橋市もやっているとのことで、他市でやっていない取り組みを提案したい。また、広くスポーツを捉えて、社会教育としてどういった意味があるのか、教育的な視点を忘れずに考えていきたい。

(委員長)今回、皆さんから意見をいただいたので次回の会議でスケジュールや方向性を提案したいと思う。

### (3) その他

1) 次回の会議日程について

次回の会議は、第5回定例会として平成28年2月18日(木)午後2時から中央図書館視聴覚室で開催を予定している。

以 上